

# 日本環境倶楽部 25 周年事業 (その 2) ゼロカーボン達成研究セミナー

## 1. 研究セミナー開催の趣旨

2020 年 10 月菅政権が 2050 年カーボンニュートラルを宣言、この目標に向け 2021 年 4 月には国の地球温暖化対策本部が 2030 年における温室効果ガスの削減目標をこれまでの対 2013 年 26%から 46%に引き上げました。新たな目標は、同時に発表された米国の対 2005 年 52%削減と呼応する政治的な決断であり、目標達成の裏付けや割り付けなどが存在しない中、技術革新は勿論の事、社会・経済活動の大きな変革をもたらす事が想定されます。

当法人はこの様な認識のもと、この高いハードルに向けた、企業様の事業戦略再確認或いは事業機会の発掘に、またご参加される個々人皆様の知見を深めて頂くことを目的に本セミナーを開催します。

## 2. 研究セミナー概要

オープン型セミナーとして、会員企業様以外にも参加機会をご提供いたします。また多層のご参加を可能とするため、1 回の開催はテーマを絞り、シリーズとして開催いたします。尚、各回とも都度ご案内いたしますので、個別でのご参加が可能です。また、変更になる場合があります。

摘要	開催日時	テーマ及び狙い	講師
第 1 回	2021 年 9 月 8 日(水) 15:00-16:30	<u>第 6 次エネルギー基本計画と 2050 年の脱炭素社会に向けたシナリオ</u> 2050 年のカーボンニュートラルの実現は、これまでの発想や手法では成しえない高い目標です。これを実現する社会・経済及び産業構造の変革シナリオについて、新たな国のエネルギー基本計画等の検討結果を参照しつつ、理解を深めます。	(一財)日本エネルギー経済研究所 計量分析ユニット 研究主幹 エネルギー・経済分析グループ マネジャー 松尾 雄司氏
第 2 回	2021 年 10 月 14 日(木) 15:00-16:30	<u>カーボンプライシングの国内外動向</u> 欧州では景況に左右されつつも ETS (排出権取引) が定着、今年 CBAM (国境炭素税) の導入が開始予定されています。一方、我が国でも CP としては温対税が導入済ですが、環境省や経産省を中心に新たな議論が進んでいます。税或いは排出枠いずれも企業には大きな影響があり CO <sub>2</sub> 削減と経済への影響をどう捉えているのか理解に資するものとします。	みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) 環境エネルギー第 1 部 地球環境チーム コンサルタント 金池綾夏 様
第 3 回	2021 年 12 月 17 日(金) 15:00-16:30	<u>国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP 26) の結果について</u> 英国グラスゴーで開催された COP 26 における成果、特に世界全体の野心の引き上げ、パリ協定実施指針の交渉結果 (市場メカニズム、透明性等)、日本の取組の発信内容について、実際に会議に参加した環境省の担当者様より説明を伺います。	環境省 地球環境局国際地球温暖化対策担当参事官室参事官 (国際地球温暖化対策担当) 水谷 好洋様
第 4 回	2022 年 1 月以降	<u>(仮) ゼロカーボン宣言企業の取り組み</u> 先進企業の推進内容や推進組織や仕組みをご説明頂き、セミナー参加企業様の活動に資するものとします。	・別途

【開催形式】 ; WEB開催 (ZOOM Meeting 使用予定)

【定員】 ; 先着順 70 名程度

【参加費用】 ; 無料 (どなたでもご参加が可能です)

## 3. お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本環境倶楽部 事務局長 蜂屋利巳

住所 : 東京都豊島区東池袋 2-60-2 池袋パークハイツ 2 F、電話 : 03-6869-9886

メールアドレス : kankyou@Kankyouclub.or.jp